friendship force HIROSHIMA
Newsletter Vol.13
【 平成３１年１月２６日 発行 】

To Change or Not To Change ?

フレンドシップフォース広島　会長　弓手 博

　歴史書や哲学書によると、「いかなる時代においても、永く生き残れるのは賢い人でもなく、チカラの強い人でもない。時代の変化に応じて変身できなかった人はすべて絶滅した」と言います。グローバル化とIT化のおかげで、世界は、生産者（企業）が主役の社会から、無数の生活者（消費者）が主役の捉えどころのない世の中に急速にシフトしています。このような時代背景に加え少子高齢化が急速に進むなか、古い殻のなかに安住し、トップの座から脱落した多くの大企業や有名大学など、2018年の日本は様々な形の悲劇的人災を見てきました。ここに来て、グローバル化の光と影がはっきり見えてきました。我がFFクラブも国内外において例外ではなく、ここ数年のうちに消滅したクラブ、消滅寸前のクラブなど危機的状況が目の前に影を落としています。今ここで沈みゆく世界のFFを救済する方法を考案して具体的に行動に移すことによってのみ、いわゆる「老害」を乗り越えることができると思いながら、幸運なことに2018年多くの会員からの知恵と協力を得ることができ、12月末までにFF広島念願の組織改編を完了。おかげで2019年の幕開けを迎えることができました。
Wishing you and me a wonderful New Year 2019. with hugs of many thanks and strong friendship!

≪数多くの成果2018年≫
　FF広島が取り組んだ国際交流最大の成果は三つ。一つ目は、第1回「世界の若者交流＝Global Youth Journey」GYJの実施、二つ目は、オーストラリア・クイーンズランド州英語研修の成功、3つ目は、「第1回ウエブキャンパス・アジア太平洋」の発足。それぞれ、2019年へとつながる大きな第一歩を踏み出すことができました。なかでも、GYJにはロシアからの高校生も参加し、おかげで交流方法の多様化と交流内容の高度化を図ることができました。
また、交流時のコミュニケーションについては、ポケトーク（自動通訳機）の導入によって困難を軽々と乗り越えることができ、今後、英語圏以外との交流において生じるかも知れないコミュニケーション上の不安が解消するなど、これまた笑顔の初体験となりました。
　　さらに、メキシコ・FFハラッパからの女子中学生の滞在延長は地域の人々に多くのプラスと笑いをもたらしました。彼女は近くの小学校や中学校へ出席。中学生の家庭にホームステイをさせてもらったり、ALTとのティームティーチングを楽しんだり、高校や大学でも、教育・文化・スポーツ交流など、大人から子どもまで、人々の心のグローバル化にも大いに貢献。帰国後もスマホやiPadを駆使して友人の中学生や大人とも頻繁に交信が続いており、距離や国境、文化のバリアーは全く感じられないほどの柔軟な人間関係をお互いに築くことができました。
WebCampus Asia-Pacific, CyberCampus Pan-Pacific

≪さらなる発展への期待2019年≫
　FF日本大会・松山（10月14日・15日）に参加したものの、過去数年間繰り返された同じ課題の蒸し返し（組織の若返りと活性化、新会員の獲得方法）だけで、具体的には何ら目新しい意見や質問などもなくムナシイ時間を無駄にすごしているように感じました。いわゆる「老害」が全国的にも終わっていないように思えてならない残念な2日間でした。To change or not to change, that's the question.
　ただ、数年前にFF広島としてFFIに発表した2つの提言（一つはGYJ、もう一つは、すでに英語圏各地においてアクティブに展開されている「生活英語研修プログラム」が本格的に実施されるようになったこと。そして、それら2つがWebCampus Asia-Pacificによって有機的につながって同時発展する可能性が高まっており、今後、このトレンドを潰すようなことがあってはならないでしょうね。
次はNPO: Global Communication Network Fukuyama

2018年度　FF広島Out Bound
（ツーソン、アリゾナとの交流）概要報告

AC 猪原 俊郎　Co－AC 久田 悦子

期間:2018年3月15日（水）出国～3月25日（土）帰国
アンバサダー:11名

FF-Tucson /FF-Hiroshima交流行程

3月15日
参加者11名で広島空港から成田経由～サンフランシスコと乗り継いで、ツーソン国際空港に到着。ホストに迎えられた。

3月16日
歓迎朝食会と各ホスト/アンバサダーの自己紹介やクラブ相互のプレゼント交換をした。次に市郊外南の原住民の古い「サン・サビエル教会」の見学で砂漠に生きた原住民の信仰生活と歴史の一端を学んだ。

3月17日
フリーデー、各ホストと自由行動を楽しむ。

3月18日
朝からは当地のインディアン居住地であったセントノーズ丘陵に登り、ツーソン市街を眺望の後にアリゾナ大学（UA）の構内を見学、昼前にはサボテンで埋め尽くされた植物園の見学とツーソン市長との会食。

3月19日
“Desert Museum”即ち広大なサボテン中心の砂漠に生息する猛禽類の鷹/鷲/梟等の調教訓練の実演や狼/猪/其の他、野生動物の生態観察を体験。

3月20日
コングレスホテル前に集合し、7軒の多様な料理メニューのレストランを一定の距離間隔を歩いて回りながら同時に町の歴史と食べ物の説明を受けた。

3月21日
“Historic Tombstone”「アメリカ西部村」の見学は、デイホストにお世話になった。夕刻メキシカン風バイキングスタイルでフェアーウエルパーティー。FF広島クラブ員の全員でよさこいソーラン節を踊り拍手喝さいを受けた。

3月22日
交流行事がすべて終了し、オプショナルツアーの為、州都フェニックスへ移動。
3月23日～24日
1泊2日のグランドキャニオン観光。

【アンバサダー感想文】

この度のツーソン訪問は、私にとって初めてのFF交流体験でした。ツーソン滞在中は天候に恵まれ、大自然の風景がとても美しく、見るものする事すべてが初めてのことで、嬉しくて楽しくて笑ってばかりいたのを思い出します。

特にサボテンの多さと巨大さには驚かされました。

ホストのお二人が気持ちよく受け入れてくださったのと、FFツーソンの方々が、たくさんの企画を立てて一生懸命にお世話をしてくださったおかげで、とても楽しい体験をすることができ感謝の気持ちでいっぱいです。（ 金森 のり子 ）

交流の最後の日はTUCSON から車で約1時間半 TUMBSTONE でした。アリゾナ州の東南部にありかっては鉱山として栄えた所で･･･というより多分私たちの年代では“Gunfight at the OK Corral” 「OK牧場の決斗」で有名で、それはまるで西部劇の世界へタイムスリップしたかのようで、町のいたる所で当時をしのぶことができました。
ガイドをしてくださった現地の方の私たちへの言葉が心に残っています。
それは、「人生の終わりに私たちが持っている一番大事なものは、大切な人と分かちあえる事のできる沢山の思い出と経験です」と。
この度の交流でふれ合ったTUCSONクラブの温かく素敵な方々、一緒に旅をしてくださったFF広島の皆様有り難うございました。（ Co-AC 久田 悦子 ）

Global Youth Journey to Japan

次世代交流と日米豪露若者文化交流をめざして、Global Youth Journey to Japan program を2018年6月11日（月）～6月15日（金）に実施しました。

アンバサダー27名（若者15名、大人12名）―アメリカ（18名）、オーストラリア（4名）、ロシア（5名）―を受け入れるのは、FF広島にとって初めての取り組みでしたが、若者も大人も、言語、文化の違いを乗り越え、異文化交流を深めることができました。

６月11日（月）　アンバサダー福山到着

午後２時１１分、２７名のアンバサダーはＦＦＪの金元様と福山到着。　福山市役所を表敬訪問し、杉野昌平副市長から、福山市民の思いやり、助け合いの心「ローズマインド」や、主要産業等の説明受ける。その後リムの７Ｆで来賓を迎え、ホストと一緒にオリエンテーションと懇親会。翌日からの日程確認、写真撮影を終え、ホスト宅へ。

6月12日（火）　福山市立福山中・高等学校訪問

午前中、高校生の案内で校内巡り。その中で、茶道と書道の体験をする。書道では、手本を見ながら、自分の好きな漢字を練習し、最後に1枚清書する。茶道では、まず茶道部員のお点前を拝見し、和菓子と抹茶を頂く。その後自分たちも抹茶を点てる体験をする。

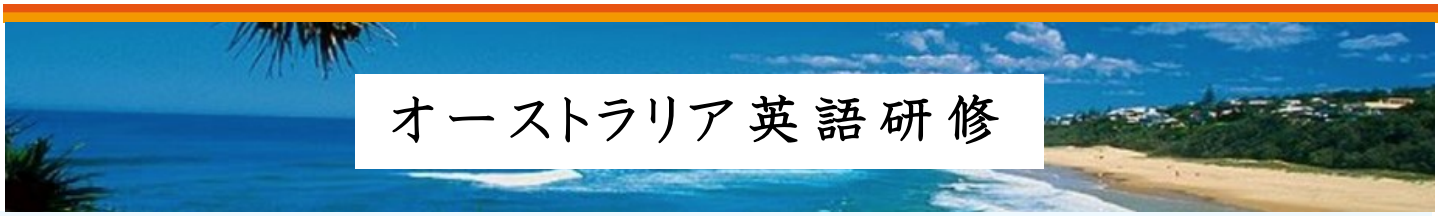
午後は全中学生が、一同に会し、折り紙、日本の遊び、着付など、アイデイアー杯の日本文化紹介は最高に盛り上がる。放課後、文化祭の練習を見学し、ホスト宅へ帰る。

6月13日（水）宮島・広島平和公園訪問

午前中に宮島厳島神社参拝、宮島街並み散策を済ませて、世界遺産航路で、広島平和公園着。午後は平和公園慰霊碑前で献花。2グループに分かれて、慰霊碑巡り。ボランテイアによる被爆体験記の朗読を聞き、原爆資料館を見学。夕食は広島お好み焼き。朝7時58分に福山出発、午後7時46分に福山着と、ハードスケジュールの1日だったが、平和公園で原爆被害の実相を見聞したことは、アンバサダーにとって大変貴重な体験。

6月14日（木）常石造船所見学・神勝寺座禅・Farewell Party

午前中、常石造船所訪問。VTRで常石造船所の仕事内容について説明を聞く。午後は神勝寺で、ジライ和尚（ドイツ人）より足の組み方、手の置き方、目の開け方，呼吸の仕方等の指導を受け、座禅に集中する。感想は色々…。あと、日本庭園散策、水と光のパビリオンで、夢想の世界を体験。夜はFarewell Party。参加者65名の盛大なパーテイー！歌って、踊って、食べて、喋って、予定の2時間は瞬く間に終了。思い出を胸に、明日の出発準備もあり、会場を後にする。　　HC 廣森 彌生　Co-HC 渡辺 絹子



オーストラリア英語研修

2018年のEnglish Learning Journey はAustralia東海岸の North Moreton と Sunshine Coastでした。

まず、Ambassador募集にあたって、広島県のみでは人数を確保できず、国内へ募集をかけたところ、長崎県 福岡県 神奈川県 奈良県 三重県 岐阜県 鳥取県 島根県の各地から集まった19名で出発することになりました。参加者はNorth Moreton と Sunshine Coast のどちらか一方のみ、あるいは両方とも、そして optional にも参加のありなしと、いろいろな参加パターンがあり、広島からの参加者は、行く人来る人が楽しい交流が出来て無事に旅程を果たすことができるよう気を配ってくださいました。そしてACとCo-ACに適切なアドバイスをくださり、この協力こそが旅の楽しみを左右する基本なのだと痛感しました。

さて、受け入れ先の2クラブは English Learning での受け入れは初めてで、どのような内容で私たちの希望をかなえてあげられるか、何度も話し合いを持ったそうです。
毎日私たちが書いた journal を添削してくださったり、 original の textbook を作ってくださったり、また歌を歌ったりダンスをしたり、と趣向を凝らした内容の数々に、私たちも毎日楽しく学習できました。しかもこうした役割をみんなで分担していて、その日のリーダーの個性にも触れることもできました。ホストだけでなく会員みんなで協力する態勢が出来ており、毎夜いろいろなメンバーの家でのディナーは、料理だけでなくおしゃべりにも花が咲きました。

ほとんどのホストは70歳超だと思われますが、得意のものを見せたり、作ってくれたりと、心を使ったそれぞれのやり方で私たちを楽しませてくれ「人をもてなすエキスパートだ」と心に強く刻まれました。こうした全員態勢での受け入れは、FF広島にとって今後のよい参考になると思います。滞在中はみなさんからたくさんの元気をもらいました。

古参の English の先生に、英会話で一番大切なことは何ですか？と尋ねたら、間髪いれず“ユーモア”と“スマイル”ですよ！と言われたことが心に響きました。これからの英会話上達に向け大いに触発されました。

そして今回の交流では、各クラブとの交流はもとより、地元の Cleveland State High School を訪問し若者たちとも交流しました。これは North Moreton の HC Allan Roff のお陰で実現しました。日本語を学習している彼らはとても意欲的で一人一人日本語で自己紹介してくれました。一方私たちも出身県についてアピールしましたよ。とりわけ彼らの日本食への関心は相当なものでさまざまな料理名があがるのに一同ビックリ！11月には日本に修学旅行で来るそうです。すでに旅行を終え帰国しているのですが、日本滞在を満喫してくれたことを願っています。シニア年代との交流だけでなく若者との交流でも思わぬ発見がありました。

これからも Friendship Force で世界各地を訪れたり、逆に他国からの訪問者を受け入れ、いろいろな人や文化に触れること、そして互いの違いを越えて人の輪を広げていけたら楽しいだろうなあ。海外だけでなく国内にあっても、やりたいことを楽しみながらこれからの人生を謳歌していきたいものです。

AC 小川　徹　Co-AC 小野　一惠

【追 伸】

こうした楽しい交流を終え、あとは無事に帰るのみと思っていたところ、台風接近で急遽ルートやフライト変更があり、あるいは関空での水没やタンカー接触で道路封鎖まであり、てんやわんやでしたが、旅行会社の迅速な対応があり全員無事日本に帰国できました。

こうして振り返ってみると、今後2度とは遭遇しないようなこともありましたが、貴重な経験になりました。帰国後、参加者からお礼のメールがつぎつぎ届き、AC ・ Co-AC をやって本当に良かったと思っています。

Stop Over － カスタトーン、ストラッドフォード

オーストラリア　カスタトーン受入れ　－ 4月7日 ～ 9日 －

ストップオーバーで12名の方たちが広島のオリエンタルホテルへ滞在されました。初日、広島駅でお迎えし、ホテルに荷物を預けた後、平和公園へ。桜の残る公園内を巡った後、平和祈念館を訪れました。夜はお好み村でお好み焼きの夕食です。目の前で焼けるお好み焼きに皆さん大喜びでした。

2日目は福山まで足を運んでいただき、歓迎の昼食会をしました。総勢43名、広島クラブからはよさこいソーラン、カスタトーンからは楽しい歌に合わせた人形劇など、歌あり、踊りありの楽しいひとときを過ごすことができました。

9日の宮島では、皆で厳島神社を訪れた後の自由行動では、水族館へ行ったり、買い物をしたり、思い思いに楽しまれたようです。広島に戻り、広島駅前の福屋フードコートで夕食をとり、一人一人とお別れの挨拶を交わした後、名残を惜しみつつ解散しました。

広島クラブでのストップオーバーは、広島観光が中心となるため、移動が大変な面もありますが、今回は広島の竹内さん、山本鈴子さんと阿部さんにも協力をいただき、初めて広島の案内を経験する私に、進め方を一からご指導くださいました。

HC 菅川 広彌　CO-HC 神森 且視

カナダ　ストラッドフォード受入れ　－ 5月23日 ～ 25日 －

＜5月23日 広島平和公園＞

平和公園付近で昼食をとるレストランが予約出来ず、広島在住の人にパンや飲み物等一人ずつに袋詰めしてもらい当日平和公園に届けてもらう。この昼食は大変好評でした。

1日目の平和公園の日程は何とか終わり、ホテルへ。ホテルのフロントでトラブル発生。フロントの人も彼らを説得出来ず、福山の猪原さんに電話して助けを求めた。それで彼らはやっと納得し、そのホテルに泊まりました。

＜5月24日 宮島＞

ホテルからバスで広島駅へ。バス停広島駅で降車後、広島駅が見えず大変不安に。しかし、福屋の裏側だと気付き無事に広島駅に着きました。

宮島では、彼らと一緒に歩いたり、食事をしながらやっといろいろ話が聞ける余裕が出来きました。

＜5月25日 縮景園＞

入園料は幸いにも私達全員無料の年齢に達していました。ボランティアガイドもあり、広い園内を散策。

こうして皆さんに助けてもらいながら無事終わることが出来ました。

カナダからお礼のメール

Thank you very much for your email. Our trip home was good. I am quite well rested. Thank you so much for organizing our visit to Hiroshima. We all appreciated what you did for us. We found it very interesting and emotional. The gardens we visited were so beautiful and Miyajima was a unique place.
If you come to Canada you will be most welcome to visit our club. Again thank you.
In friendship、Jan

HC 三島 美知子　CO-HC 笹田 富子

写真はカナダからのプレゼント(アイスワインとボールペン)

Bienvenidos a Fukuyama !
ーメキシコ・ハラッパクラブから14名のアンバサダー

メキシコ、ハラッパクラブと通常の交換行事を2018年10月31日～11月6日に実施しました。
今回は、ＡＣを務めるポリフィリオさんをはじめとして、ほとんどの人はスペイン語しか話さない状況。これから１週間、彼らと、コミュニケーションが図れるのかと、随分案じましたが、言葉の違いは、全く問題ありませんでした。共に生活をする中で、お互いに理解し合おうと努力すれば、思いが伝わり、理解し合え、友情が芽生える！こんなに人と人とが温かく繋がり合えるのかと、これこそ、フレンドシップ・フォースの目指すところ！活動意義を再認識する。

•10月31日（水）アンバサダー到着・オリエンテーション・歓迎会

アンバサダーは、朝の６時２０分成田着の連絡が入る。急遽オリエンテーション開始時刻を１時間遅くらせる。Welcome song、琴とバイオリンの歓迎演奏、日程説明、写真撮影、Welcome dinner と瞬く間に時刻は７時３０分を過ぎる。会場は、笑いとおしゃべりで、最高潮に盛り上がる中、会を閉じホスト宅へ。

•11月1日（木）　JFE見学•神勝寺座禅体験

午前中、貸切バスでJFE工場見学。鉱石が溶鉱炉を経て、熱延薄鋼板が出来る工程の見学は圧巻。昼食は神勝寺の湯豆腐（精進料理）。ジライ和尚の指導で、座禅体験。静寂の中、気のゆるみを戒めてもらう警策を乞う人もおり、静かに心を見つめる時を過ごす。

11月2日（金）　鞆の浦案内（鞆中学生）

午前中、ホストとフリータイム。昼食は、ベジタリアンレストランで。
午後、鞆公民館で、鞆中学校2，3年生の歓迎を受け、生徒の指導で鶴と手裏剣の折り紙に挑戦する。その後グループ別に、鞆の街並みをオリエンテーリング形式で、生徒が案内。ゴールの鞆公民館では、生徒自作のキーホルダーを記念に頂く。

•11月3日（土）　広島平和公園訪問

今回は、少し早く広島平和公園へ行き、午前中原爆資料館の見学を済ませる。午後、原爆慰霊碑で花を捧げ、平和公園内の碑巡り。ボランテイアによる被爆者の被爆体験記や詩の朗読を聞く。聞きながら、被爆の実相に涙する人、詩の朗読を率先してする人など、平和を願うと同時に、痛恨の時でもあった。本通りで買い物を楽しみ、広島お好み焼きを食べ、福山へ帰着。

•11月4日（日）　ホストとフリーデイ

茶道体験、陶芸体験、倉敷ツアー、しまなみ海道ドライブ、寺社巡り等々。ホストと楽しい時を過ごす。

•11月5日（月）　宮島観光•Farewell Party

宮島口からフェリーで宮島へ。フェリーから見える宮島の大鳥居に歓声を挙げ、写真を撮っている間に宮島到着。厳島神社までの道すがら、鹿が人懐こく近づいてくる。スペイン語通訳の方の詳しい説明で、ゆったりと厳島神社の本殿、回廊を見学する。その後、昼食、買い物を楽しみ、福山へ帰着。夜はFarewell Party！　歌って、踊って、食べて‥‥6日間の交流の時を閉じる。　　HC 廣森 彌生　CO-HC 菅川 広彌

こ　れ　か　ら　の　予　定

日　程	内　容
1月26日（土）	定例総会（福山人権交流センター）
6月23～30日	Westerm Michigan
6月中旬	Global Youth Program
7月23日～27日	FF 世界大会　Colorado，USA
8月下旬	英語研修（オーストラリア）AC 小野一恵
10月	FF西日本ブロック会議　福岡
10月27日（日）	FF 日本大会　静岡
10月30日（水）～	Leicestershire,UK受け入れ
11月9日（日）～11日（月）	SOH, Victoria and Vancouver Island

－新会員紹介－

【 菅田 恵理子 さん 】
斎藤様の紹介です。子ども英語教室を経営し、家族は夫と2匹の猫です。宜しくお願いします。

【 片山　芳恵 さん 】
9月に斎藤さんの紹介で入会しました。3姉妹を子育て中です。
会話や交流を楽しみたいと思います。

【豊田　和人 さん 】
府中市在住、中期高齢、米国滞在経験あり、同級生夫婦です。
気負わず楽しむことがモットーです。

【 開原　典子 さん 】
斉藤さんの紹介で入会させていただきました。
毎年、オーストリアの友人を訪ねて、一人旅をしています。
FF広島の皆様の、海外の方方々との交流の話を聞かせていただくのが、楽しいです。
よろしくお願いいたします。

【 中川　照久 さん 】
弓手会長の高校同期の中川照久です。縁あって入会させていただきました。宜しくお願い申し上げます。英会話頑張ります。

【 世良 俊邦 さん 】
定年退職後、広島市立本川小学校（母校）に係るShizumi Peace Project日本委員会と本川おもてなし隊で平和交流のボランティア活動をしています。福山市の齋藤かおり様の紹介で昨年9月入会しました。廿日市市在住で福山主体のFF広島の行事参加は難しいですが、広島近隣の場合は声を掛けてください。

【 安田 美都子 さん 】
昨年2月に入会し、9月オーストラリアに渡航体験しました。中国語、英語を習い会話はダメでも歌は原語で歌ってます。

【 濱田 公美子 さん 】
生き物が好きで旅行が好きな濱田です。世界中を旅して歩くのが夢で、まだ見たことがない景色をこの目で見て肌で人や文化に触れたいと思って英語を勉強中です。よろしくお願いします。

【 編集後記 】

各イベントでは多くの方々が参加され、また、それらを素に関係者の方々から原稿をいただき、無事に第１３号を発行することができました。皆様のご協力ありがとうございました。News letterの質の向上のため、広報誌へのご意見等ございましたらメールでお寄せください。（編集員 田村 賢治 小川 正樹）